

# システム開発・保守QCD研究会2020

2021年4月15日

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会  
システム開発・保守QCD研究会

# 目次

1. 研究会の取り組み(目的・内容)
2. 研究会参加企業、参加者
3. 2020年度の取り組み  
～各社の事例発表・共有の成果報告～
4. 2021年度の取り組みについて

# 1. 研究会の取り組み(目的・内容)

# 1. 研究会の取り組み(目的・内容)

## 【研究テーマ】

システム開発における品質・コスト・工期・生産性の改善  
《知見を共有しメンバ・企業のレベルアップを図る》

### 1. 各社事例発表・共有

⇒ システム開発・保守における品質・コスト・工期・生産性の向上  
及び改善にむけた取り組みについて、各社、事例を発表

《自社内への展開含め改善のための事例共有》

⇒ 発表事例をもとにグループディスカッションを実施

少人数でディスカッションを行うことで問題の深掘りや、メンバ間の交流を深める(今年度からの新しい試み)

## 2. 研究会参加企業、参加者

## 2. 研究会参加企業、参加者

NO		会社名	ご参加者氏名
1	部会長		
2	副部会長		
3	副部会長		
4	副部会長		
5	副部会長		
6	副部会長		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

## 2. 研究会参加企業、参加者

NO	会社名	ご参加者氏名
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38	アドバイザー	
	事務局	
	事務局	

**34(団体)38名(除くJUAS)の方が参加**

# 3. 2020年度の取り組み ～各社の事例発表・共有の成果報告～



# 各社事例発表

参考になる取り組み事例を紹介。質疑応答も積極的。  
研究会メンバー各社の知見の共有に繋がっています。

- **開催日時**

- 基本毎月第1火曜日 14時30分～18時  
⇒ 2020年度は、7回の各社事例発表会を開催  
(新型コロナの影響で開始月が9月)

- **1回の発表数**

- 5テーマ～6テーマ  
⇒ 2020年度は、合計33テーマの発表がありました  
(特別講演会含む)

- **発表・質疑時間**

- 発表:約30分
- 質疑応答(意見交換):約5分

# 参加者への依頼事項

有意義な場とするためにメンバーにお願いしていること

- **Give & Takeを前提**に各社メンバーが年1回事例を発表
- 発表に対しての質疑・意見交換
  - ・ 発表者への質問から研究会メンバー間の意見交換へ
- **発表内容は可能な限り具体的内容で**
  - ・ **公開できる範囲内で、より具体的内容であること**
  - ・ **発表者自身が関与し改善に取り組まれた内容であること**
- 事後アンケートの入力
  - ・ 各発表におけるアンケート内容は発表者にフィードバック
  - ・ アンケート結果の良い発表テーマは年度末に表彰！！
  - ・ アンケート回答皆勤賞の方も年度末に表彰！！

# 初のオンライン開催

## 新型コロナの影響により集合形式を諦めオンライン開催

- 幹事団とJUAS事務局で協議を重ねてオンライン開催の方向性を模索。
- JUAS事務局からのZOOM利用方法のレクチャーやサポートを得て、なんとかオンライン開催の目途が立った。
- 開催開始月が例年より遅れたことによって、1開催あたりの時間延長や報告件数を増やすなどの対処となった。

# 初のオンライン開催

## 初のオンライン開催を振り返って

### ● 良かった点

- 移動時間がかからないため、ロケーション(東京、大阪、その他)に関わらず参加しやすい。
- 集合形式より出席率が高かった。
- 集合形式時は紙資料だったが、オンライン形式への変更にて資料も電子化。(配布の範囲は限定)

### ● 工夫した点

- オンライン時のルール作り(個別ルームやヘッドセット推奨、カメラ基本ON、発言時以外はミュート、チャットでの質問受付)
- 幹事団のコミュニケーションツールとしてSlackを導入。
- 事例発表後にテーマごとにチームを分けて、グループディスカッションを開催。小グループでより深いコミュニケーションを取れる環境を設けた。(ZOOMの機能を活用)

# 初のオンライン開催

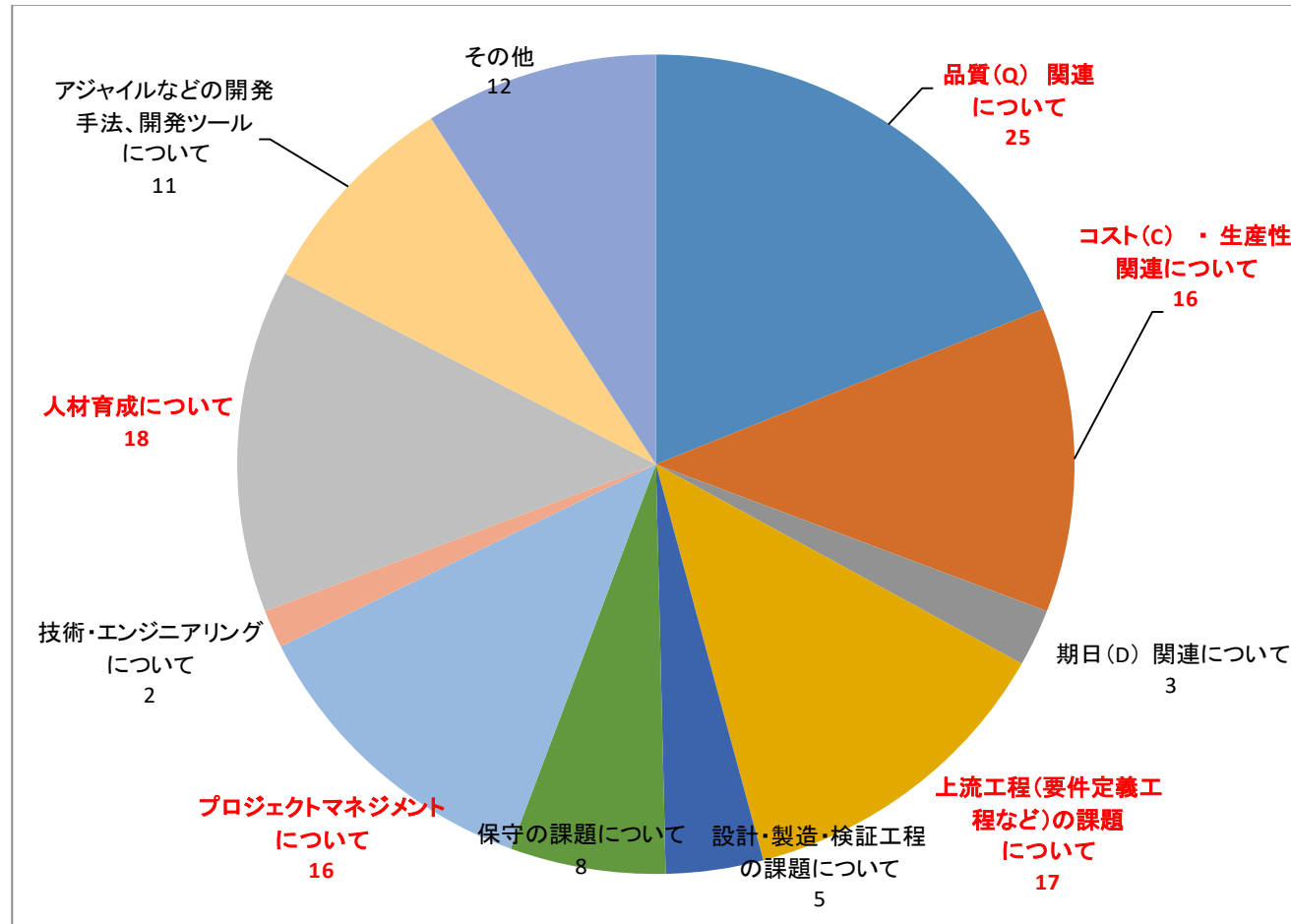
## 初のオンライン開催を振り返って

- **悪かった点**
  - ・ 研究会活動は人脈形成も大きなメリットも一つであるが、個々人のつながりを深めることは難しかった。
  - ・ 定例会後のオンライン懇親会を2回開催したが、集合形式時より出席率が低かった。

# 事前アンケート

聞きたいテーマ、各社課題認識がある項目は？の事前アンケート結果は以下の通りです。  
回答が多かった項目は以下。各社事例発表テーマを準備する上で参考にしてください。

**1位:品質関連、2位:人材育成、3位:上流工程の課題、4位:コスト関連、プロジェクトマネジメント**



# 事例発表テーマ大方針

各社事例発表のテーマについて、事前アンケートを参考に以下を大方針として準備をお願いした。

## 合宿テーマに関連するテーマ

2020年度は合宿ができなかった

## QCD向上に関連するテーマ

例：プロジェクト事例紹介（成功、失敗）、  
全社レベルの品質改善、生産性向上への取組、  
メトリクス活用事例、人材育成、上位工程の改善取組  
（要件定義工程での品質評価方法etc）

---

---

**2020年度、発表されたテーマは・・・**



# 発表テーマ

項目	発表テーマ
品質(Q)関連 (実績発表数1位)	<ul style="list-style-type: none"><li>① 特大プロジェクトにおける品質管理(品質状態の可視化と管理)</li><li>② A社システム本部の品質強化の取組みについて</li><li>③ 障害発生防止に向けた取組み</li><li>④ 社内品質向上活動の取組みについて ~品質保証レビュープロセス~</li><li>⑤ システム品質向上に向けた取組み</li><li>⑥ B社のIT案件レビュー制度について ~9年前と今~</li><li>⑦ システム構築における品質向上に向けた取組み</li><li>⑧ 2020年度の品質活動状況ご紹介</li><li>⑨ 品質管理活動のご紹介</li><li>⑩ 再構築プロジェクトにおける問題点の振り返り等について</li><li>⑪ 品質維持活動のご紹介</li><li>⑫ 非機能要件における失敗事例の共有</li></ul>

# 発表テーマ

項目	発表テーマ
プロジェクトマネジメント ・開発プロセス (実績発表数2位)	<ul style="list-style-type: none"><li>① C社グループにおけるPMO活動について</li><li>② スクラムマスターやってみた～ほぼほぼリモートアジャイル体験記</li><li>③ プロジェクト事例紹介</li><li>④ 弊社システム構築事例 内製から外注へ</li><li>⑤ RPA導入の失敗と改善への取り組み</li><li>⑥ 当社プロジェクト事例紹介(短期間の大規模開発のフェジビリティ確保)</li><li>⑦ アジャイル開発の取り組み</li><li>⑧ 大規模開発PJの振り返りと完了報告について</li><li>⑨ システム評価レビュー制度について</li><li>⑩ システム再構築プロジェクトの振り返り～再構築プロジェクトの失敗からの対策と成果～</li></ul>
上流工程の課題・改善	<ul style="list-style-type: none"><li>① 事例紹介_帳票基盤PJにおける課題改善策</li><li>② 上流工程標準化の取り組みについて</li></ul>

# 発表テーマ

項目	発表テーマ
保守の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>① 事後保守から予防保守へ</li><li>② 運用・保守業務の品質改善取り組みについて</li></ul>
開発手法・開発ツール ・技術・エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"><li>① 社内で活用されているシステム開発効率化ツールの展開</li></ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"><li>① iCD スキル管理の取り組み</li></ul>
コスト(C)・生産性関連	事例発表なし
その他 (実績発表数3位)	<ul style="list-style-type: none"><li>① システム開発におけるSierと情報システム部のあるべき姿とは？</li><li>② D社標準システムアーキテクチャ 2025年実現に向けた活動紹介</li><li>③ システム投資計画のカイゼンについて</li><li>④ 低稼働資源削減の取り組み</li></ul>

# 2020年度の発表内容の傾向

## 品質に関する発表テーマが多い

- ⇒ 今年度も事前アンケート及び実績ともにテーマ数として1位。4年連続同じ結果。品質優先、及び各企業の課題認識が高い傾向が続く。各企業の品質向上に向けた取り組み活動が多く発表された。

## プロジェクトマネジメント・開発プロセスに関するテーマが増加

- ⇒ 実際のプロジェクト事例紹介に基づくプロジェクトマネジメントや組織活動に関する内容が多かった。特に失敗事例から次に向けてのプロセス改善へのつながりが多く見られた。アジャイルのテーマも増加した印象。

## コストや生産性関連のテーマはなかった

- ⇒ 例年事前アンケートでも上位に来るテーマで、毎年数テーマの発表があったが今年度は0件だった。

## コロナ禍のQCD活動やテレワークについて

- ⇒ 今年度最大の関心事であるコロナ禍におけるQCD活動やテレワークについては各社興味はあるものの取り組み始めたばかりで、今年度は発表はほとんどなかった。しかしながら、今後は新しい生活様式を前提とした課題や取り組み事例などを取り扱う発表が期待できる。

# アンケート結果が高かった発表内容

テーマ	概要
アンケート評価1位 B社のIT案件レビュー制度について ~9年前と今~	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 9年前の取り組みが現在どのように引き継がれているか、改善されているか</li><li>・ 歴史あるQCD研究会ならではの発表テーマ</li><li>・ 基準が追加されていたり、チェック項目が増えていたり改善が見られる</li><li>・ 特になくなった施策はなかった</li></ul>
アンケート評価2位 iCDスキル管理の取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・ iCDを導入してから約5年間運用してきた</li><li>・ 会社の実態に合わせたキャリアパスの充実</li><li>・ 現場へ定着させるための工夫</li></ul>
アンケート評価3位 プロジェクト事例紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人間系に起因したプロジェクト阻害要因が発生</li><li>・ ヒューマンリソースマネジメントを支援する独自のモデル(SRM(※))の紹介 (※)System engineer Resource Management</li><li>・ 得意とする定量管理の徹底</li><li>・ 顧客や他ベンダも巻き込んで問題解決策を提案／実践</li></ul>
アンケート評価4位 品質維持活動のご紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>・ プロジェクト案件の進捗状況の管理／報告できるシステムを導入</li><li>・ 予定案件の早期把握と本部組織としての戦略的な対応の支援</li><li>・ 影響度の高い障害の共有、防止に向けたディスカッションと削減施策推進</li><li>・ 自社に起因する障害だけでなく他起因障害も含めて障害対策に取り組む</li></ul>
アンケート評価5位 システム評価レビュー制度について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ システム開発において、品質要求事項を満たす能力を評価し、もし問題があればそれを明確にし、必要な処置を提案する為に実施。</li><li>・ 段階的なレビュー、レビューに合格しないと次フェーズに進めない</li><li>・ 全社的な定着への取り組みと個々のスキルアップ</li></ul>

## 4. 2021年度の取り組みについて

# 2021年度の取り組みについて

2021年度も事例発表、ディスカッションにて、  
開発・保守のQCDを中心に研究していきます。

## 1. 各社事例発表・共有

⇒ システム開発・保守における品質・コスト・工期・生産性の向上  
及び改善にむけた取り組みについて、各社、事例を発表。

《自社内への展開含め改善のための事例共有》

⇒ 毎月の定例会にて当日発表された事例テーマをもとにグループ  
に分かれ討議。

知見の共有や交流を深める目的でディスカッションの機会を増加。  
(2020年度からの新しい取り組みを継続)

→あえて、成果物を作成しない。

まとめを意識せずに短時間で濃い意見交換を目指す。

# 2021年度の取り組みについて

## オンライン合宿を企画

合宿がなくなったことでコミュニケーションの機会が減り、人脈の構築が難しかった。

- 実際の合宿は難しいため、オンラインでも同じような企画をできないか？
  - チームに分かれてディスカッションを重ねることで、より深い知見の交換や人脈形成を促進したい。
- 合宿は金曜日・土曜日の1泊2日で実施されていたが、オンライン合宿は金曜日1日(もしくは半日)で開催予定。



ご清聴いただきありがとうございました。